

第 21 回鎌倉市観光基本計画進行管理委員会会議要旨

日時 平成 26 年 8 月 22 日（金）10：00～11：30

場所 鎌倉市議会第二委員会室（本庁舎 2 階）

出席者：中根副委員長、小林委員、藤川委員、渡邊委員、久本委員

事務局：梅澤部長、奈須次長、齋藤担当課長、山戸課長補佐、齋藤職員

傍聴者：2 名

- 議事の概要
1. 開会
 2. 庶務事項
 3. 審議事項
 - (1) 鎌倉市の観光事情〔平成 26 年度版〕について
 4. その他
 5. 閉会

1. 開会

2. 庶務事項

委員長が欠席のため、設置要綱第 4 条の 3 に基づき、中根副委員長が代理で進行を行うこととなった。

3. 審議事項

(1) 鎌倉市の観光事情〔平成 26 年度版〕について

事務局から鎌倉市の観光事情〔平成 26 年度版〕の主な修正事項について説明を行った。

(委員) 民間で英語版の地図を作成、配布している事例を記載すべきと意見した内容が反映されていない。

(事務局) アクションプランの照会によって、関係団体の行っている実施事業については、記載を行っているが、民間での草の根の取り組みについては、把握が難しい状況にある。

(委員) 自分が知る限り、作成部数が多いところとしては、鎌倉 TODAY と旅うららの事例がある。このような草の根の取り組みについても積極的に記載すべきである。

(事務局) ご意見いただいた事例に関しては、ぜひ記載したい。

(副委員長) 観光協会と一緒に、もっと民間の取り組みを取り入れてもいいのではないかと。そして、観光協会を通じて、民間との連携をとっていくということも良いのではないかと。

(委員) 鎌倉の観光がどう成り立っているか、宗教施設との関連なども含め、記述があると良い。

(副委員長) 鎌倉は、寺社に支えられた地域であることは間違いない。

(委員) どういった施設と積極的に連携をとって、観光を進めていくという記述もがあると良い。

(委員) 着地型観光の導入に市が取り組んだことは良いが、現在は観光協会に丸投げとなり、あまり良い成果をあげきれていない状況である。観光協会に限らず、NPOなどの市民団体でも着地型観光を進めていくことは出来るし、ラウンドテーブルのようなものも築いていくことも出来る。

(副委員長) 今の意見については、課題提言の「8 地域が一体となった観光振興の推進」の記述に、新たな組織の構成員として国や県、交通事業者、観光業者等と例示されているが、ここにNPOなどの市民団体という文言を追加してはどうか。また、課題提言の「9 次期観光基本計画の策定」の記述に、「鎌倉の観光の質を高め、鎌倉らしさを問う計画づくりが望まれる」という文言を追加してほしい。

(委員) 実績概要がわかりにくいので、どのくらい達成されているかを把握するための数値があると良い。

(事務局) 10 ページに目標指標の実績数値を掲載しているところである。

(副委員長) 10 ページに記載されている目標指標の実績数値について、その総括を 61 ページの実績評価前文で言及すべきだ。数値が伸びているものについてはその旨を記述し、数値が伸びていない項目については課題として記述すべきだ。

(委員) 市民の満足度が低くなっているが、経済波及効果を検証すれば、満足度が引きあがることに繋がる可能性もある。

(副委員長) 23 ページから 24 ページにかけての経済効果の推計は、この項以外の集計、推計数値と異なる基準で作成されたものであることから、混同を避けるためにも巻末に「参考」扱いで掲載するに止めるべきだ。

(副委員長) 課題提言の「2 鎌倉ならではの観光の推進」に、宿泊化の強化による観光客の回遊性の向上、エリア的分散化という要素を追記してもらいたい。

(委員) 宿泊施設については、鎌倉旅館組合がホームページを立ち上げていたと思うので、このような活動も確認しておいていただきたい。

(委員) 31 ページの事業の概要の中で、トイレ修繕と海水浴場避難誘導看板について、具体的な実施箇所を明記してもらいたい。

(委員) 29 ページに記載されている職員給与費について、当初予算に比べ決算額がかなり下がっているが、その理由はなぜか。

(事務局) 手持ち資料では確認できないので、確認次第、後日お伝えする。

(副委員長) 課題提言の「6 訪日観光客の満足度向上」に、ムスリム対応に係る記述があるが、特にムスリムに特化して記述するのではなく、「ムスリム対応も含めた、外国人観光客の嗜好や習慣に対するきめ細やかな対応が求められる」といった書きぶりにすべきだ。

4. その他

(委員) 次期観光基本計画の策定が近づいているが、策定にあたって委員会が設けられるのか。

(事務局) 策定委員会については、この委員会とは別に別途立ち上げる予定である。

以上